

|     |                  |      |               |
|-----|------------------|------|---------------|
| 科目名 | ファッションビジネス理論と演習Ⅰ | 整理番号 | 記入しないで下さい     |
| 学科  | ファッションビジネス学科     | 期    | 前期            |
| コース | トップマネジメントコース     |      | 昼間            |
| 学年  | 1年               | 授業形態 | 講義 50% 実習 50% |
| 時間数 | 120              | 作成者  | 塩田 千織         |

**【科目の到達目標】**

ファッションビジネスの基礎知識とファッション産業における商品知識を講義と演習により修得し、ファッションマーケットの情報を収集・分析できる人材の育成。

**【科目の概要】**

今、日本のファッション産業は国際化が激しくなっており、あらゆる部門で国内だけでなく、国際的な視点を持ってビジネスを進める事の出来る人材がさらに求められている。本教科では、ファッションビジネスの基本として、ファッションビジネス知識や商品知識の基礎を中心に講義と演習により修得する。

**【授業計画】 90分/コマ**

- 1・2 ファッション業界とはⅠ
- 3・4 ファッション業界とはⅡ
- 5・6 ファッション商品の流れⅠ
- 7・8 ファッション商品の流れⅡ
- 9・10 ファッション小売業Ⅰ
- 11・12 ファッション小売業Ⅱ
- 13・14 ファッション小売業Ⅲ
- 15・16 ファッション小売業Ⅳ
- 17・18 ファッション小売業Ⅴ
- 19・20 ファッション小売業Ⅵ
- 21・22 ファッション小売業Ⅶ
- 23・24 ファッション小売業Ⅷ
- 25・26 ファッション小売業Ⅸ
- 27・28 ファッション小売業Ⅹ
- 29・30 ファッション消費者行動Ⅰ
- 31・32 ファッション消費者行動Ⅱ
- 33・34 ファッション消費者行動Ⅲ
- 35・36 ファッション消費者行動Ⅳ
- 37・38 ファッション消費者行動Ⅴ
- 39・40 ファッション消費者行動Ⅵ
- 41・42 ファッション消費者行動Ⅶ
- 43・44 アパレル産業Ⅰ
- 45・46 アパレル産業Ⅱ
- 47・48 アパレル産業Ⅲ
- 49・50 アパレル産業Ⅳ
- 51・52 アパレル産業Ⅴ
- 53・54 ビジネスプレゼンテーションⅠ
- 55・56 ビジネスプレゼンテーションⅡ
- 57・58 ビジネスプレゼンテーションⅢ
- 59・60 テスト

**【成績評価方法】**

課題評価 60% 試験 30% 授業態度 10%

**【教科書・参考書】**

ファッションビジネス学会・監督『ファッションビジネス用語辞典訂正版』文化出版局

(財)日本ファッション教育振興会・編『ファッション販売[Ⅰ]訂正版 ファッション販売能力検定試験3級準拠』(財)日本ファッション教育振興会

(財)日本ファッション教育振興会・編『ファッションビジネス[Ⅰ]訂正版 ファッションビジネス能力検定試験3級準拠』(財)日本ファッション教育振興会

(財)日本ファッション教育振興会・編『ファッションビジネス[Ⅱ]訂正版 ファッションビジネス能力検定試験2級準拠』(財)日本ファッション教育振興会

(財)日本ファッション教育振興会・編『ファッション販売能力検定試験2級項目別試験問題・解答集』(財)日本ファッション教育振興会

**【教材・教具】**

(財)日本ファッション教育振興会・編『ファッション販売能力検定試験3級項目別試験問題・解答集』

大枝一郎『ファッションビジネスの基本上』ファッション教育社

|     |                  |      |               |
|-----|------------------|------|---------------|
| 科目名 | ファッションビジネス理論と演習Ⅱ | 整理番号 | 記入しないで下さい     |
| 学科  | ファッションビジネス学科     | 期    | 後期            |
| コース | トップマネジメントコース     |      | 昼間            |
| 学年  | 1年               | 授業形態 | 講義 50% 実習 50% |
| 時間数 | 60               | 作成者  | 塩田 千織         |

**【科目の到達目標】**

「ファッションビジネス理論と演習Ⅰ」にて修得した基礎知識を元に、ファッションビジネスをグローバルな視点で捉えた産業構造を理解し、グローバルな視点に立ったファッションマーケットの情報を収集・分析できる人材の育成。

**【科目の概要】**

今、日本のファッション産業は国際化が激しくなっており、あらゆる部門で国内だけでなく、国際的な視点を持ってビジネスを進める事の出来る人材がさらに求められている。本教科では、ファッションマーケティング、ファッションマーチャンダイジングやアパレル流通の知識を講義と演習により修得する。

**【授業計画】 90分/コマ**

- 1・2 アパレルマーケティングⅠ
- 3・4 アパレルマーケティングⅡ
- 5・6 アパレルマーケティングⅢ
- 7・8 リテールマーケティングⅠ
- 9・10 リテールマーケティングⅡ
- 11・12 リテールマーケティングⅢ
- 13・14 ファッションマーチャンダイジングⅠ
- 15・16 ファッションマーチャンダイジングⅡ
- 17・18 ファッションマーチャンダイジングⅢ
- 19・20 リテールマーチャンダイジングⅠ
- 21・22 リテールマーチャンダイジングⅡ
- 23・24 ファッション流通Ⅰ
- 25・26 ファッション流通Ⅱ
- 27・28 ファッション流通Ⅲ
- 29・30 テスト

**【成績評価方法】**

課題評価 60% 試験 30% 授業態度 10%

**【教科書・参考書】**

ファッションビジネス学会・監督『ファッションビジネス用語辞典訂正版』文化出版局

(財)日本ファッション教育振興会・編『ファッション販売Ⅰ』訂正版 ファッション販売能力検定試験3級準拠』(財)日本ファッション教育振興会

(財)日本ファッション教育振興会・編『ファッションビジネスⅠ』訂正版 ファッションビジネス能力検定試験3級準拠』(財)日本ファッション教育振興会

(財)日本ファッション教育振興会・編『ファッションビジネスⅡ』訂正版 ファッションビジネス能力検定試験2級準拠』(財)日本ファッション教育振興会

(財)日本ファッション教育振興会・編『ファッション販売能力検定試験2級項目別試験問題・解答集』(財)日本ファッション教育振興会

**【教材・教具】**

(財)日本ファッション教育振興会・編『ファッション販売能力検定試験3級項目別試験問題・解答集』

大枝一郎『ファッションビジネスの基本上』ファッション教育社

|     |                       |      |               |
|-----|-----------------------|------|---------------|
| 科目名 | ファッションマーケティング&プランニングⅠ | 整理番号 | 記入しないで下さい     |
| 学科  | ファッションビジネス学科          | 期    | 前期            |
| コース | トップマネージメントコース         |      | 昼間            |
| 学年  | 1年                    | 授業形態 | 講義 50% 実習 50% |
| 時間数 | 60                    | 作成者  | 塩田千織          |

**【科目の到達目標】**

マーケティングの基礎知識を講義と演習により修得し、市場の求めるファッション商品のプランニングが出来る人材

**【科目の概要】**

ファッション市場の国際化を受け、益々消費者の選択枠が広がりをを見せている。ファッションマーケティングにおいても、マーケット情報を分析しビジネスを進める事の出来る人材がさらに求められている。本教科では、商品企画書を作る為に必要なファッション用語や、市場情報の収集・分析方法を講義とリサーチにより学ぶ。

**【授業計画】**

| 90分/コマ | 前期                | 後期 |
|--------|-------------------|----|
| 1・2    | オリエンテーション         |    |
| 3・4    | 消費者行動とファッション生活    |    |
| 5・6    | マーケティングリサーチとは     |    |
| 7・8    | アパレル企業のマーケティング    |    |
| 9・10   | アパレル企業のマーチャンダイジング |    |
| 11・12  | マーケティングリサーチ       |    |
| 13・14  | ターゲット企画           |    |
| 15・16  | ブランド企画            |    |
| 17・18  | 商品コンセプト企画         |    |
| 19・20  | コーディネート企画         |    |
| 21・22  | アイテム企画Ⅰ           |    |
| 23・24  | アイテム企画Ⅱ           |    |
| 25・26  | プロモーション企画         |    |
| 27・28  | テスト               |    |
| 29・30  | プレゼンテーション         |    |

**【成績評価方法】**

課題評価 60% 試験 30% 授業態度 10%

**【教科書・参考書】**

ファッションビジネス学会・監督『ファッションビジネス用語辞典訂正版』文化出版局

菅原正博・山本光子『ファッション・マーケティング』ファッション教育社

(財)日本ファッション教育振興会・編『ファッションビジネス[Ⅰ]訂正版 ファッションビジネス能力検定試験3級準拠』(財)日本ファッション教育振興会

**【教材・教具】**

内藤郁代『商品企画実践のための感性分類とトレンド分析』ファッション教育社

栗山志明『フィールドマーケティングの基本と技術』織研新聞社

|     |                       |      |               |
|-----|-----------------------|------|---------------|
| 科目名 | ファッションマーケティング&プランニングⅡ | 整理番号 | 記入しないで下さい     |
| 学科  | ファッションビジネス学科          | 期    | 後期            |
| コース | トップマネジメントコース          |      | 昼間            |
| 学年  | 1年                    | 授業形態 | 講義 65% 実習 35% |
| 時間数 | 30                    | 作成者  | 白井一樹          |

**【科目の到達目標】**

前期学んだ商品企画の基礎をより戦略型(ビジネス)にした商品企画を作成し  
マーチャンダイジングのスキルをUPする。

**【科目の概要】**

市場分析マップ作成

ビジネス企画書作成&プレゼン

ファッションビジネスⅡに基づき進行しますが、ファッションビジネス論と接点を持たせ進行する。

**【授業計画】** 90分/15コマ

- 1 市場分析Ⅰ
- 2 市場分析Ⅱ
- 3 ターゲット企画Ⅰ
- 4 ターゲット企画Ⅱ
- 5 トレンド分析Ⅰ
- 6 トレンド分析Ⅱ
- 7 商品コンセプトⅠ
- 8 商品コンセプトⅡ
- 9 コーディネイト企画Ⅰ
- 10 コーディネイト企画Ⅱ
- 11 アイテム企画Ⅰ
- 12 アイテム企画Ⅱ
- 13 プロモーション
- 14 プレゼンテーション
- 15 フィードバック

**【成績評価方法】**

平常点 10%

課題の仕上がり(商品企画書を100点満点で採点し平均点で評価)50%

プレゼンテーション100点満点で採点し平均点で評価)40%

**【教科書・参考書】**

ファッションビジネス(Ⅱ)

**【教材・教具】**

パソコン 雑誌 マップ作成一式

|     |               |      |               |
|-----|---------------|------|---------------|
| 科目名 | 販売技術 I        | 整理番号 | 記入しないで下さい     |
| 学科  | ファッションビジネス学科  | 期    | 前期            |
| コース | トップマネージメントコース |      | 昼間            |
| 学年  | 1年            | 授業形態 | 講義 40% 実習 60% |
| 時間数 | 30            | 作成者  | 西田和音          |

**【科目の到達目標】**

ファッションアドバイザーに必要な基本的な知識と技術を身に付け、プロのファッションアドバイザーとして顧客のニーズを引き出す対応が出来る人材の育成。

**【科目の概要】**

ファッションアドバイザーに必要な基礎知識を講義により修得し、お客様対応の技術をロールプレイングにて学ぶ。

**【授業計画】** 90分/コマ

- 1 プロのFA像とは I
- 2 プロのFA像とは II
- 3 お客様に安心感を与える
- 4 金銭授受
- 5 金銭授受
- 6 購買心理の8段階
- 7 購買心理 注目段階
- 8 購買心理 注目段階
- 9 購買心理 興味段階
- 10 購買心理 興味段階
- 11 購買心理 連想段階
- 12 購買心理 連想段階
- 13 購買心理 欲望段階
- 14 購買心理 欲望段階
- 15 テスト

**【成績評価方法】**

課題60% 期末試験30% 授業態度10%

**【教科書・参考書】**

教①:『ファッション販売3訂正版 ファッション販売能力検定試験3級公式テキスト』(財)日本ファッション教育振興会  
 教②: 高村是州『スタイリングブック』グラフィック社

**【教材・教具】**

『ファッション販売能力検定試験問題集3級訂正版』(財)日本ファッション教育振興会  
 『ファッション販売3訂正版 ファッション販売能力検定試験3級公式テキスト』(財)日本ファッション教育振興会  
 上條美由紀『ビジュアル版 プロの接客術』織研新聞社

|     |               |      |                 |
|-----|---------------|------|-----------------|
| 科目名 | 販売技術Ⅱ         | 整理番号 | 記入しないで下さい       |
| 学科  | ファッションビジネス学科  | 期    | 後期              |
| コース | トップマネージメントコース |      | 昼間              |
| 学年  | 1年            | 授業形態 | 講義 50 % 実習 50 % |
| 時間数 | 60            | 作成者  | 阪田優             |

**【科目の到達目標】**

「販売技術Ⅰ」にて修得した販売の基礎知識を元に、顧客ニーズの開発をきっかけに顧客づくりが出来、店長として果たすべき役割を理解した人材の育成を目指す。

**【科目の概要】**

アパレル販売の接客担当者(FA)における役割は、販売だけに留まらない。最終消費者に直接接触できる店頭販売員は、販売を通じて得た顧客の声を生産者に伝えるという重大な使命がある。本教科では、顧客の心理を理解し、ライフスタイルに沿った商品提案と、顧客管理までの知識と技術の習得を目指す。

**【授業計画】 90分/コマ**

- 1・2 接客ロールプレイングⅠ
- 3・4 購買心理 欲望段階
- 5・6 購買心理 比較検討段階Ⅰ
- 7・8 購買心理 比較検討段階Ⅱ
- 9・10 購買心理 比較検討段階Ⅲ
- 11・12 購買心理 信頼・決定段階
- 13・14 接客ロールプレイングⅡ
- 15・16 接客テクニックⅠ
- 17・18 接客テクニックⅡ
- 19・20 接客テクニックⅢ
- 21・22 接客ロールプレイングⅢ
- 23・24 タイプ別接客対応Ⅰ
- 25・26 タイプ別接客対応Ⅱ
- 27・28 修業テストⅠ筆記
- 29・30 修業テストⅡ実技

**【成績評価方法】**

課題60% 期末試験30% 授業態度10%

**【教科書・参考書】**

『ファッション販売Ⅰ』ファッション販売能力検定3級準拠』財団法人日本ファッション教育振興協会  
『ファッション販売Ⅱ』ファッション販売能力検定2級準拠』財団法人日本ファッション教育振興協会  
『ファッションビジネス(Ⅱ)』ファッションビジネス能力検定試験2級準拠』財団法人日本ファッション教育振興協会

**【教材・教具】**

アパレル商品・店舗什器一式・店舗備品、上條美由紀『ビジュアル版 プロの接客術』織研新聞社

|     |               |      |               |
|-----|---------------|------|---------------|
| 科目名 | ビジネスマナー I     | 整理番号 |               |
| 学科  | ファッションビジネス学科  | 期    | 通年            |
| コース | トップマネージメントコース |      | 昼間            |
| 学年  | 1年            | 授業形態 | 講義 60% 実習 40% |
| 時間数 | 60            | 作成者  | 田中亜紀          |

**【科目の到達目標】**

就職活動時の企業訪問や面接試験に必要な社会人としての基本的なマナーを身につけます。卒業後の企業人として必要なコミュニケーション能力やマナーの応用力を養っていきます。美しい立ち居振る舞いを習得しワンランク上の人材を目指します。また、サービス接客検定2級・準1級の取得も目指し、達成感や自信につなげます。

**【科目の概要】**

この科目では人と人とのつながりの基本のコミュニケーション力を育成します。マナーの基本でもある身体言語（表情・態度・身だしなみ・挨拶）と言葉づかいを実践的に学習します。立ち姿から、笑顔の作り方、メリハリのある話し方を、楽しく覚えて頂きます。コミュニケーション能力を養って、魅力ある社会人を目指しましょう。

**【授業計画】**

| 90分/コマ |   | 前期 | 後期  |
|--------|---|----|---|
| 1      | ビジネスマナーの必要性<br>(マナーチェックシート)               |    | 1 サービス接客検定 筆記対策 ①<br>(資質・専門知識・一般知識)       |
| 2      | インターネットのモラル<br>(SNS拡散の影響 著作権侵害など)         |    | 2 サービス接客検定 筆記対策 ②<br>(対人技能)               |
| 3      | 挨拶の重要性と心のこもったおじぎ<br>(綺麗な姿勢から歩き方のレッスン)     |    | 3 サービス接客検定 筆記対策 ③<br>(実務技能)               |
| 4      | 基本の自己紹介・面接対策授業<br>(第一印象にかかわる基本)           |    | 4 サービス接客検定 筆記対策 ④<br>(過去問題練習)             |
| 5      | 言葉以外のコミュニケーションの手法<br>(アイコンタクト・表情・発声・発音)   |    | 5 サービス接客検定 筆記対策 ⑤<br>(模擬試験実施)             |
| 6      | 基本の姿勢 身ごなし ビデオチェック<br>(1～5確認テスト)          |    | 6 サービス接客検定 準1級面接対策<br>(これで合格！ 入室から退室まで)   |
| 7      | 敬語の総復習※ミニテスト<br>(第一印象にかかわる基本の総復習)         |    | 7 就職活動で必須 自己分析の重要性<br>(性格・ライフプランニングシート作成) |
| 8      | 敬語の種類と使い方・案内のマナー<br>(立場に応じた言葉づかい)         |    | 8 就職面接のための準備 ①<br>(自己振り返りシート作成)           |
| 9      | 接客用語の基本・ドアの扱い方のマナー<br>(クッション言葉・婉曲表現・面接対策) |    | 9 就職面接のための準備 ②<br>(自己紹介シートの作成)            |
| 10     | 接客用語の応用・電話対応練習<br>(言葉遣い実践)※8～10確認テスト      |    | 10 就職面接のための準備 ③<br>(自己紹介シートの完成)※実技試験      |
| 11     | 名刺の扱い方・サービス2級検定対策<br>(名刺交換の実践練習)          |    | 11 就職面接のための電話実践練習<br>(入室～退室まで 1分間自己PR)    |
| 12     | アナウンスの仕方 実践 録音<br>(サービス接客検定記述問題 対応)       |    | 12 模擬 個人面接の実践<br>(質疑応答の実践)                |
| 13     | 掲示文の書き方 実践<br>(サービス接客検定記述問題 対応)           |    | 13 電話対応のマナー・メールのマナー<br>(就職活動での電話・メールのマナー) |
| 14     | 終業テスト対策授業<br>(受付、案内、エレベーター、敬語復習)          |    | 14 電話対応の実践<br>(てるコーチを使って実践)               |
| 15     | 前期まとめと総復習                                 |    | 15 グループディスカッションのマナー<br>1年間の総復習            |

**【成績評価方法】**

◎課題提出物 60% ◎修業テスト・確認テスト 30% ◎授業態度 10%

**【教科書・参考書】**

田野直美 著 『ビジネスでの常識集』 トータルマナー株式会社 最新版  
元吉昭一 著 『サービス接客検定 実問題集 1-2級』 財団法人実務技能検定協会 早稲田教育出版 最新版

**【教材・教具】**

ビデオカメラ・モニター、てるコーチ、ボイスレコーダー  
サービス接客検定 準1級 ロールプレイング DVD、その他 随時 練習プリント

|     |               |      |           |     |        |
|-----|---------------|------|-----------|-----|--------|
| 科目名 | 商品製作 I        | 整理番号 | 記入しないで下さい |     |        |
| 学科  | ファッションビジネス学科  | 期    | 前期        |     |        |
| コース | トップマネージメントコース |      | 昼間        |     |        |
| 学年  | 1年            | 授業形態 | 講義        | 10% | 実習 90% |
| 時間数 | 60            | 作成者  | 坂本紘子      |     |        |

**【科目の到達目標】**

レディスウエアの基本アイテムである、ブラウス・スカート・ワンピース・パンツの構造・製作工程を理解し、洋服に適した素材選択ができる。

**【科目の概要】**

洋服の知識を持った販売員・マーチャンダイザーを服飾業界は、必要としている。  
本教科では、ブラウス・スカート・ワンピース・パンツを実物作品製作することにより服作りの工程・素材・構造等を学ぶ。

**【授業計画】**

| 90分/コマ |                              | 前期                                   |
|--------|------------------------------|--------------------------------------|
| 1,2    | 授業説明・縫製用具の理解<br>ミシン・アイロンの使い方 | 31,32 パンツの製作(1)<br>各自サイズの製図          |
| 3,4    | 手縫いの基礎・ブラウスの製作(1)            | 33,34 パンツの製作(2)                      |
| 5,6    | 手縫いの基礎・ブラウスの製作(2)            | 35,36 パンツの製作(3)                      |
| 7,8    | ブラウスの製作(3)                   | 37,38 パンツの製作(4)                      |
| 9,10   | ブラウスの製作(4)                   | 39,40 パンツの製作(5)                      |
| 11,12  | ブラウスの製作(5)                   | 41,42 パンツの製作(6)                      |
| 13,14  | スカートの製作(1)採寸・製図              | 43,44 パンツの製作(7)                      |
| 15,16  | スカートの製作(2)                   | 45,46 パンツの製作(8)                      |
| 17,18  | スカートの製作(3)                   | 47,48 台襟付長袖シャツの制作(1)<br>商品企画(グループ制作) |
| 19,20  | スカートの製作(4)                   | 49,50 台襟付長袖シャツの制作(2)                 |
| 21,22  | ワンピースの製作(1)                  | 51,52 台襟付長袖シャツの制作(3)                 |
| 23,24  | ワンピースの製作(2)                  | 53,54 台襟付長袖シャツの制作(4)                 |
| 25,26  | ワンピースの製作(3)                  | 55,56 台襟付長袖シャツの制作(5)                 |
| 27,28  | ワンピースの製作(4)                  | 57,58 台襟付長袖シャツの制作(6)<br>商品企画グループ発表   |
| 29,30  | ワンピースの製作(5)                  | 59,60 テスト・授業まとめ                      |

**【成績評価方法】**

課題作品の仕上がり評価(実物作品5点を100点満点で採点し平均点で評価)60%  
理解力(修業テスト・プレゼン)30%  
平常点(授業態度)10%  
以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する。

**【教科書・参考書】**

プリントを配布・「ブラウス」「スカート」「ワンピース」「パンツ」教科書 上田安子服飾専門学校  
「洋裁」「縫い方全書」教科書・服飾手帖社

**【教材・教具】**

筆記用具 洋裁用具一式 ミシン等縫製機器



|     |                  |      |               |
|-----|------------------|------|---------------|
| 科目名 | 商品製作Ⅱ(パターンメイキング) | 整理番号 | 記入しないで下さい     |
| 学科  | ファッションビジネス学科     | 期    | 後期            |
| コース | トップマネージメントコース    |      | 昼間            |
| 学年  | 1年               | 授業形態 | 講義 20% 実習 80% |
| 時間数 | 60               | 作成者  | 坂本 紘子         |

**【科目の到達目標】**

アパレル業界は、洋服の知識を広く持つ人材を必要とする。  
本課題では企画書に沿ってコーディネートした実物制作ことで服作りの素材、デザイン、工程、構造を学ぶ。

**【科目の概要】**

前期で学んだアイテムを基としてトップスとボトムスをコーディネートした2体を制作する。  
ボディに着用させて製品のデザイン、製造、販売までのプロセスをプレゼンテーションする。

**【授業計画】**

90分/コマ

- 1・2 企画書 コーディネートA B
- 3・4 パターンメイキング
- 5・6 パターンメイキング
- 7・8 トワール組み
- 9 パターン縫い代付け
- 10・11・12 裁断
- 13・14 縫製
- 15・16 縫製
- 17・18 縫製
- 19・20 縫製
- 21・22 縫製
- 23・24 縫製
- 25・26 縫製
- 27・28 プレゼンテーション合評会
- 29・30 テスト・まとめ

**【成績評価方法】**

課題作品の仕上がり評価(実物作品4点を100点満点で採点し平均点で評価)60%  
理解力(修業テスト・プレゼン)30%  
平常点(授業態度)10%  
以上を指導要領に基づいて総合的に評価する。

**【教科書・参考書】**

「ブラウス」「スカート」「ワンピース」「パンツ」教科書 上田安子服飾専門学校  
「洋裁」「縫い方全書」教科書 服飾手帖社

**【教材・教具】**

ミシン等縫製機器・洋裁道具一式 PC・プロジェクター

|     |               |      |           |        |
|-----|---------------|------|-----------|--------|
| 科目名 | カラーリング        | 整理番号 | 記入しないで下さい |        |
| 学科  | ファッションビジネス学科  | 期    | 前期        |        |
| コース | トップマネージメントコース |      | 昼間        |        |
| 学年  | 1年            | 授業形態 | 講義 20%    | 実習 80% |
| 時間数 | 30            | 作成者  | 福田新之助     |        |

**【科目の到達目標】**

色彩の基礎学習と課題制作を通じてファッションに対する意識と実践力を高める。  
 アパレル業界ビジネス分野においてカラーリングの重要性に気づき・対応出来る基盤を獲得することを目標にして主観的な発想だけではなく、客観的に物事を考える力を身につける。

**【科目の概要】**

配色(カラーリング)の基礎・色の仕組みを、PCCSの理論を基礎に、絵具による混色。  
 着彩とカラーリングにより演習を行いカラーリングの重要性を学ぶ。

**【授業計画】**

| 90分/コマ | 前期                                   | 後期 |
|--------|--------------------------------------|----|
| 1      | カラーリングの基本 色出し                        |    |
| 2      | 基本配色 対比                              |    |
| 3      | 明度と彩度の違い I                           |    |
| 4      | 明度と彩度の違い II                          |    |
| 5      | 明度と彩度の違い II                          |    |
| 6      | ファッションイメージとトーン I<br>フェミニン・スポーティーから選択 |    |
| 7      | ファッションイメージとトーン II                    |    |
| 8      | ファッションイメージとトーン III                   |    |
| 9      | ファッションイメージとトーン IV                    |    |
| 10     | ①トレンドによるカラーリングの提案制作<br>8つのトレンド感性から選択 |    |
| 11     | a)ミナント、b)グラデーション、c)レピテーションからも        |    |
| 12     | ②トレンドによるカラーリングの提案制作                  |    |
| 13     | ③トレンドによるカラーリングの提案制作                  |    |
| 14     | 修業テスト                                |    |
| 15     | ④トレンドによるカラーリングの提案制作                  |    |

**【成績評価方法】**

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

**【教科書・参考書】**

中田満雄 北畠耀 細野志尚 監修 財団法人日本色彩研究所『デザインの色彩』日本色研事業株式会社 2版

**【教材・教具】**

デザインセット(デアインガッシュ絵具/パレット/筆/筆洗)雑巾、B4ケント紙、配色カード(199色)  
 30センチ定規、雲形定規、コンパス、カッターナイフ、ハサミ、ノリ、カッティングマット

|     |                   |      |                 |
|-----|-------------------|------|-----------------|
| 科目名 | ファッションドローイング&デザイン | 整理番号 | 記入しないで下さい       |
| 学科  | ファッションビジネス学科      | 期    | 前期              |
| コース | トップマネージメントコース     |      | 昼間              |
| 学年  | 1年                | 授業形態 | 講義 20 % 実習 80 % |
| 時間数 | 30                | 作成者  | 三谷和也            |

**【科目の到達目標】**

ファッション産業界で必要なドローイング及びデザインの基礎知識、人体のプロポーシオンを理解しアイテム画、スタイル画の描き方とテクニックを修得。

**【科目の概要】**

IT社会に即応した商品企画プレゼンテーション、バイイングに必要なデザインやスタイリングをコンセプトに基づいてアイテム画、スタイル画に表現出来る。

**【授業計画】**

| 90分/コマ | 前期                           | 後期 |
|--------|------------------------------|----|
| 1      | 授業ガイダンス<br>鉛筆の基本操作。基本人体バランス。 |    |
| 2      | アイテム画のフォーマット作成               |    |
| 3      | アイテム画 シャツ                    |    |
| 4      | アイテム画 パンツ&スカート               |    |
| 5      | アイテム画 ジャケット                  |    |
| 6      | アイテム画 ニット&カットソー              |    |
| 7      | アイテム画 コート                    |    |
| 8      | スタイル画 コーディネートの話              |    |
| 9      | スタイル画 着装の方法                  |    |
| 10     | スタイル画 着装の方法                  |    |
| 11     | スタイル画 ペン入れ                   |    |
| 12     | スタイル画 着色の方法                  |    |
| 13     | スタイリング画作品制作                  |    |
| 14     | スタイリング画作品制作                  |    |
| 15     | テスト                          |    |

**【成績評価方法】**

提出物評価30% テスト30% プレゼンテーション20% 授業態度20%

**【教科書・参考書】**

プリントを配布

**【教材・教具】**

筆記用具

|     |               |      |              |
|-----|---------------|------|--------------|
| 科目名 | 服飾素材論 I       | 整理番号 | 記入しないで下さい    |
| 学科  | ファッションビジネス学科  | 期    | 後期           |
| コース | トップマネージメントコース |      | 昼間           |
| 学年  | 1年            | 授業形態 | 講義100 % 実習 % |
| 時間数 | 30            | 作成者  | 河本 育子        |

**【科目の到達目標】**

ターゲットのニーズに応じた素材提案ができる人材の育成を目指す。  
 アパレル素材についての基礎知識を修得し、その代表的な布地の特性を理解する。

**【科目の概要】**

多様化するニーズ、マーケットやチャネルの変化の中にあっても、材料となる素材を抜きにファッションを語る事は本教科では、講義によりアパレル素材の基礎知識を体系的に修得。  
 また教科書等の実物サンプルを通して、布地理解を深め、ターゲットに応じた素材選びを学んでいく。

**【授業計画】**

90分/コマ

- 1 オリエンテーション  
ファッショントレンドと素材の関連性について
- 2 素材とは？(繊維・糸・布地)
- 3 生地の種類(織物・編物)について
- 4 ・繊維の種類について  
天然繊維・化学繊維
- 5 繊維の特性
- 6 ・天然繊維(1)・植物繊維—綿  
代表的な綿織物
- 7 ・天然繊維(2)・植物繊維—麻  
代表的な麻織物
- 8 ・天然繊維(3)・動物繊維—毛
- 9 代表的な毛織物
- 10 ・天然繊維(4)・動物繊維—絹
- 11 代表的な絹織物
- 12 生地の加工・色・パターン(柄)について
- 13 まとめ
- 14 総復習(テスト傾向と対策)
- 15 総合テスト

**【成績評価方法】**

提出物(レポート)の評価 60 % 期末試験 30 % 授業態度 10 %

**【教科書・参考書】**

・一見 輝彦『わかりやすいアパレル素材の知識』ファッション教育社, 2012年  
 ・田中道一『生地的事典』株式会社みずしま加工 2013年

**【教材・教具】**

筆記用具

|     |               |      |                 |
|-----|---------------|------|-----------------|
| 科目名 | コンピュータ演習 I    | 整理番号 | 記入しないで下さい       |
| 学科  | ファッションビジネス学科  | 期    | 通年              |
| コース | トップマネージメントコース |      | 昼間              |
| 学年  | 1年            | 授業形態 | 講義 20 % 実習 80 % |
| 時間数 | 60            | 作成者  | 松下絢子            |

**【科目の到達目標】**

パソコンやネットワークを安全に、効果的に活用できる基礎的知識を身につけるとともに、Microsoft Word Microsoft Excel Microsoft Power Pointの基本操作を理解し、Adobe Illustrator、Adobe Photoshopでの画像、イラスト作成できる。また、店頭やビジネスの世界でPCを使える人材を育成する。

**【科目の概要】**

ファッションビジネスに必要と思われる、ネットを使ったリサーチ手法から企画書作成までのコンピュータの基礎技術を習得する。講義を行い教員と同時進行でコンピューターを使用してそれぞれの課題を取り組み、目的に合わせてソフトウェア選択し、使いこなせる。

**【授業計画】**

| 90分/コマ | 前期       | 後期          |
|--------|----------|-------------|
| 1      | 基本操作・表作り | 16 基本操作     |
| 2      | ビジネス文書   | 17 表作り      |
| 3      | トレンドマップ  | 18 収支報告準備   |
| 4      | トレンドマップ  | 19 収支報告     |
| 5      | トレンドマップ  | 20 基本操作     |
| 6      | 基本操作     | 21 基本操作     |
| 7      | 商品企画     | 22 基本操作     |
| 8      | 商品企画     | 23 名刺       |
| 9      | 商品企画     | 24 名刺       |
| 10     | 商品企画     | 25 ペンツール    |
| 11     | 商品企画     | 26 ペンツール    |
| 12     | 商品企画     | 27 ハンガーイラスト |
| 13     | 商品企画     | 28 ハンガーイラスト |
| 14     | 商品企画     | 29 ハンガーイラスト |
| 15     | 商品企画     | 30 テスト      |

**【成績評価方法】**

|           |     |
|-----------|-----|
| 課題        | 60% |
| 修業テスト     | 30% |
| 平常点(授業態度) | 10% |

**【教科書・参考書】**

- ①井上香緒里 & できるシリーズ編集部『できるWord&Excel&Power Point2013』株式会社インプレスジャパン出版
- ②片岡蔵『世界一わかりやすいPhotoshop操作とデザインの教科書』株式会社技術評論社
- ③片岡蔵『世界一わかりやすいIllustrator操作とデザインの教科書』株式会社技術評論社
- ④菅原正博 本山光子『ファッション・マーケティング』株式会社ファッション教育社 1999年4月5日発行

**【教材・教具】**

パソコン、USBメモリー、ファッション雑誌、A4ファイル

|     |               |      |              |
|-----|---------------|------|--------------|
| 科目名 | ファッション史 I     | 整理番号 | 記入しないで下さい    |
| 学科  | ファッションビジネス学科  | 期    | 後期           |
| コース | トップマネージメントコース |      | 昼間           |
| 学年  | 1年            | 授業形態 | 講義 100% 実習 % |
| 時間数 | 30            | 作成者  | 山本廣道         |

**【科目の到達目標】**

人類誕生の歴史と同じようにファッションの歴史も存在する。身体を守る機能としての服から、現在のトレンド、流行としての服までを大きく捉え、国の文化の違い、美術、建築、音楽など文化的関連性を学び、デザイン、企画、服作りの基礎を習得する。

**【科目の概要】**

I では日本の幕末期西洋服導入期から始まり、原始、古代、中世、近世、近代のファッションと文化を考察する。

**【授業計画】 90分/コマ**

- 1 日本西洋服の導入期幕末から、日本文化の特徴、男子詰襟服、ハイカラ、セーラー服、モボモガ
- 2 1945年終戦からアメリカ文化の流入、1964年東京オリンピックとメンズ服、1970年大阪万博とレディス服
- 3 アワーグラス、クリノリン、バスル、レディスパンツ、ミニスカート
- 4 原始から古代、毛皮、ドレーパリー、ポンチョ、チュニック、カフタン、ズボンとフォークロア
- 5 古代ギリシャ&ローマ、宗教の誕生とパチカン市国、ベルニーニ、ミケランジェロ
- 6 中世ヴィザンティン、ロマネスク、ゴシックからゴス、ゴシック建築、ジャンヌダルク
- 7 近世ルネサンスのイタリア黄金時代、ルーブル、オルセー、ポンピドー、大航海時代と日本南蛮文化
- 8 裏ルネサンスのヘンリー8世とエリザベス1世、レディス貴族ファッションの確立
- 9 裏ルネサンスのアメリカ大陸到達と、独立、ゴールドラッシュ、南北戦争
- 10 バロックとスペイン、オランダの黄金時代とイタリアの終焉
- 11 フランスロココの黄金時代、ルイ14世とベルサイユ、マリーアントワネットと16世
- 12 ディズニープリンセス系、ロリータファッションと原宿の歴史
- 13 裏ロココのイギリス産業革命、ブリティッシュトラッドと階級制度の確立、サヴィルロウとビスポーク
- 14 軍服の影響力、ヴィクトリア女王とゴシックリバイバル、ダークファンタジーとGOTH
- 15 テスト

**【成績評価方法】**

課題評価 60%、 期末試験 30%、 授業態度 10%

**【教科書・参考書】**

**【教材・教具】**

|     |                  |      |             |
|-----|------------------|------|-------------|
| 科目名 | イングリッシュコミュニケーション | 整理番号 | 記入しないで下さい   |
| 学科  | ファッションビジネス学科     | 期    | 通年          |
| コース | トップマネジメントコース     |      | 昼間          |
| 学年  | 1年               | 授業形態 | 講義20% 実習80% |
| 時間数 | 60               | 作成者  | Ae Fa Hwang |

**【科目の到達目標】**

英語でのコミュニケーションの基礎を築き日常英会話を身につける。また専門分野に関する英文資料を理解するための基礎を習得する。様々な状況において英語を使うことを恐れない自信をつける。

**【科目の概要】**

ビジネス業務での英語コミュニケーションの必要性を理解し、実践的なトレーニングで簡単な日常英会話能力を養う

**【授業計画】**

| 90分/コマ |                                  | 前期 | 後期 |                                     |
|--------|----------------------------------|----|----|-------------------------------------|
| 1      | Introductions                    |    | 16 | Unit 9                              |
| 2      | English pronunciation            |    | 17 | Unit 10                             |
| 3      | Making the Self Introduction MAP |    | 18 | Unit 11                             |
| 4      | Unit 1                           |    | 19 | Unit 12                             |
| 5      | Unit 2                           |    | 20 | Unit 13                             |
| 6      | Unit 3                           |    | 21 | Unit 14                             |
| 7      | Unit 4                           |    | 22 | Unit 15                             |
| 8      | Unit 5                           |    | 23 | Presentation / Basic knowledge      |
| 9      | Review /speech preparion         |    | 24 | Presentation / Research             |
| 10     | 1-minute speech, Unit 6          |    | 25 | Presentation / Preparation          |
| 11     | Unit 7                           |    | 26 | Presentation / Rehearsal            |
| 12     | Unit 8                           |    | 27 | Presentation                        |
| 13     | Review / test                    |    | 28 | Review / test /Enjoy a English song |
| 14     | Understanding a movie            |    | 29 | Understanding a movie               |
| 15     | Watching a movie                 |    | 30 | Watching a movie                    |

**【成績評価方法】**

提出物評価30% テスト30% プレゼンテーション20% 授業態度20%

**【教科書・参考書】**

プリント配布、『PASSPORT1』& 『PASSPORT1 WORKBOOK』 OXFORD PRESS, 2010

森沢洋介著『どんどん話すための瞬間英作文トレーニング』ベレ出版 2017

**【教材・教具】**

DVDs and player, PC and Projector, CD player, Dictionary(Smartphone Application), Magazines